



国民春闘共闘

2022年度 第11号
2022年1月20日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

ケア労働者の
大幅賃上げ
ACTION
Zenroren Shuntokiyoto

愛知・京都 早い動き出すで

ACTION 開始!



愛労連 プロジェクトチーム立ち上げで意気高く

愛労連は、アクション成功に向けて医労連、建交労、福祉保育労、自治労連に加え、介護事業を展開している生協労連も加わって1月14日に意思統一会議を開催。13人の仲間が参加し、各分野から職場の現状や示された制度の問題点などを出し合い共有化。2月6日のローカルビッグアクションでツイデモやスタンディングを行い、アンケートやVOICEで現場の声を集めながら、県医労連が取り組んでいるネット署名をもとに、産別を超えた「すべての仲間」が取り組める署名も企画中です。さらに、3月10日には記者会見等で集めた声を可視化していくことを計画。プロジェクト名を『エッセンシャルワーカーの大幅賃上げ・増員 緊急アクション』とし、出足早く取り組みます。

16日には愛知県医労連が臨時大会を開催。「人の確保のためにもすべてのケア労働者の大幅賃上げをつかみとる春闘にしよう！」と意思統一。大会後の金山駅前での宣伝行動には日本医労連の佐々木委員長も含め20人の仲間が参加（写真上）。40分の宣伝で10筆のいのち署名も集まりました。

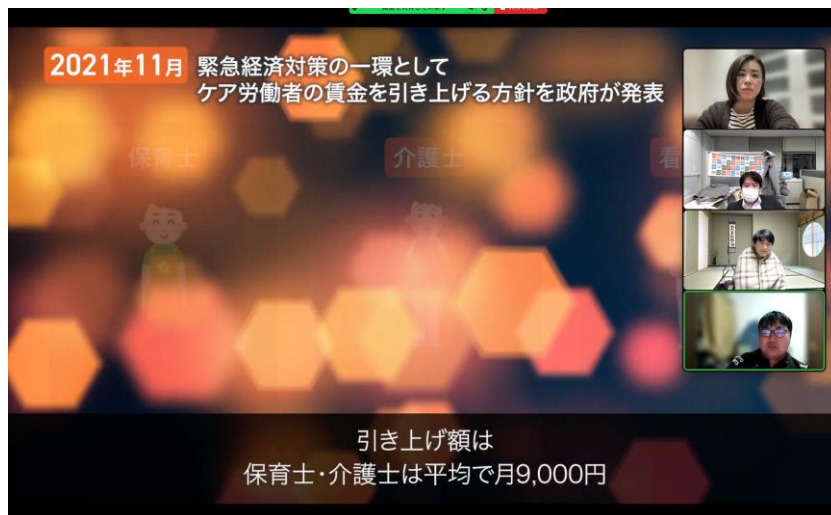
京都総評 青年部が学習・意思統一

京都総評青年部は1月17日、常任委員会の中でケア労働者の大幅賃上げアクション

について提案。1月15日の本キックオフ集会での学習動画を、総評の柳生事務局長も含めて参加者全員で視聴しました（写真右）。

視聴した青年からは「絶対必要な職業なのに、冷遇されている。自分たちもお世話になるのに」（全労連・全国一般）、「今日の動画を見るまでこんな運動が行われていることを知らなかった。まずは他の青年にも

も知って欲しい。つながりある青年に動画を拡散して意見交流をしたい」（自治労連）、「介護士時代、賃金が低くて続けられないと思った。改めて、今回コロナ禍で声を上げていいんだというきっかけになると思う」（医労連）との感想が寄せられ、『これから当事者たちが運動を作っていけるように、声を集めていこう』と意思統一しました。



◆本アクションの成功に向けて PR 動画コンテストを開催します（賞金あり）。実施要綱をご確認いただき、ぜひ多くの組織、個人で参加をお願いいたします。要綱の詳細は前号（春闘共闘ニュース第10号）をご参照ください。以下のリンクおよびQRコードから確認できます。

春闘共闘ニュース第10号（ケア労働者の大幅賃上げアクション④）

http://www.zenroren.gr.jp/jp/syuntou/2022/data/2022_10.pdf



ケア労働者の賃上げアクションに関する取り組みについて、情報がございましたらお寄せください。

natori@zenroren.gr.jp